

2004年 全修協 水俣環境学習セミナー

実施の概要

1. 目的

修学旅行を通して児童生徒の環境保全に対する思考力・判断力・実践力を育成するために、現地の教職員と交流を図りながら、環境教育に関する指導内容・指導方法に関する研修会を実施する。

2. 主催 財団法人 全国修学旅行研究協会

3. 後援 熊本県、熊本県観光連盟、水俣市、御所浦町、関東地区公立中学校修学旅行委員会

4. 協力 全日本空輸（株）、NPO 法人水俣教育旅行プランニング、近畿日本ツーリスト（株）

5. 実施期日 平成16年8月19日（木）～21日（土） 3日間

6. 参加人数 9名（東京都・神奈川県の公立中学校先生、（財）全修協）

7. 実施箇所 水俣市：もやい館、熊本県環境センター 他

8. 講師 丸山定巳氏（熊本大学文学部 教授）

田中 睦氏（水俣第1小学校 教諭、水俣葦北公害研究サークル 代表）

吉永利夫氏（NPO 法人水俣教育旅行プランニング 専務理事）

吉井正澄氏（前水俣市 市長）

9. 訪問見学箇所

水俣市：水俣病資料館、熊本県環境センター、水俣病情報センター、水俣湾埋立地親水護岸、水俣市役所、エコタウン、茂道漁港、授産施設「ほっとはうす」
相思社、久木野（棚田）

御所浦町：白亜紀資料館、化石発掘体験

本渡市：天草切支丹館

セミナーの概要

8月19日（木）13時49分新水俣駅到着後、市内の「もやい館」に移動し、当協会の中西理事長の挨拶に続いて、今回のセミナー受入であるNPO 法人水俣教育旅行プランニング吉永専務理事の趣旨説明があり、2日間にわたるセミナーがスタートした。

丸山教授からは、「水俣病事件の歴史と現在」として、1908年にさかのぼる水俣病の歴史、また、水俣病の被害が企業と患者だけでなく、行政・政治・住民社会をも巻き込んだ、いかに多面的・重層的なものだったか、年表・構図等、資料をまじえて説明していただいた。

田中先生は、「水俣病から学ぶこと」として、学校現場で直接児童・保護者としての患者に関わった体験をもとに、教育実践の反省、教師の陥りやすい点、患者さんから学んだことなどを具体的に話された。また、依然として水俣病に起因する差別や偏見が根強く残っていることを指摘された。

「もやい館」にて熊本大学 丸山教授の講演



田中先生の講演



丸山教授、田中先生との質疑



8月20日(金)8時30分に宿舎を出発、熊本県環境センターの会議室で、9時から2日目のセミナーを開始した。

吉永専務理事から、「水俣における環境学習と修学旅行について」、水俣市が事件の一応の解決以来取り組んできた環境プログラムの作成と、校外学習・修学旅行誘致の取組みについて説明を受けた。

吉井前市長は、「もやい直し、水俣市の環境への取組み」として、ご自身の生い立ち、市議時代から市長に至るまで、その大半を水俣病対策に費やされたこと。歴史的といわれた和解への取組み、その後の水俣市の再生へ向けた「もやい直し」など、市のトップとしての体験談は非常に興味深い内容だった。また、著書「気がついたらトップランナー、小さな地球・水俣」を全員にプレゼント頂いた。

「熊本県環境センター」にて
水俣教育旅行プランニング吉永専務理事の講演



吉井前水俣市長の講演



研修風景



午後はフィールドワークを実施。国・県・市の3施設を見学後、水俣市役所を訪問、滝澤助役と意見交換を行った。その後、有機水銀ヘドロを封じ込めた水俣湾埋立地、エコタウンの空き瓶リサイクル工場、水俣病患者が大量発生した茂道漁港、相思社歴史考証館などを見学した。また、授産施設「ほっとうす」訪問では代表の説明を受けた後、作業場に入れてもらい、胎児性・小児性患者の人々と短い時間ながら交流を行った。

施設見学



施設見学



水俣湾埋立地 親水公園



水俣湾埋立地 親水公園



水俣市役所訪問



エコタウン 空き瓶リサイクル工場見学



授産施設「ほっとはうす」訪問



茂道漁港



夕方近くになり、水俣市のもう一つの顔、久木野の棚田・水俣川の源流湧水地を訪ねた。何代にもわたり先祖がコツコツと積み上げてきた棚田の石垣の景観、海岸からわずか 30 分で到着する森林の中の水源など、案内の方が「水俣では、海だけではなく山も見て下さい。市の面積の 75% が林野なのです。水俣川も源流から河口まで、水俣市だけで完結しています」と言われたことを実感した。

8 月 21 日（土）8 時 30 分、御所浦町の好意により、宿舎前の岸壁から直接海上タクシーに乗船。不知火海を隔てた対岸の御所浦町に向かった。約 30 分の乗船後御所浦港に到着。同行の御所浦町役場三宅課長の案内で白亜紀資料館に入り、会議室で御所浦町が進めている漁業体験、漁村民泊、化石発掘体験などの説明を受けた。学芸員の化石の説明を聞いた後、実際にハンマー・軍手を借りて発掘体験を行った。恐竜の骨はめったに見つからないとのこと。アンモナイトなど貝類が採取の主になる。発掘したものは土産として持ち帰ることが出来、発掘も含め興味深い体験であった。

その後、また海上タクシーに乗船して本渡港にわたり、天草切支丹館を見学。市内で昼食をとった後、貸切バスで天草五橋を経由、熊本空港に向かい羽田への帰路についた。

（以上）

《今回のセミナーにご協力いただいた方々の連絡先》

- ・ NPO 法人水俣教育旅行プランニング TEL : 0966-68-9450 URL : <http://www.mkplan.org>
- ・ 水俣市商工観光課 TEL : 0966-61-1629 URL : <http://www.minamatacity.jp>
- ・ 熊本県観光連盟 TEL : 096-325-6360 URL : <http://www.kumakanren.com>
- ・ 熊本県観光物産総室 TEL : 096-381-8510 URL : <http://cyber.pref.kumamoto.jp>
- ・ 御所浦町企画観光課 TEL : 0969-67-2111 URL : <http://www.goshoura.hinokuni-net.jp>

1956（昭和 31）年の公式確認から、1995（平成 7）年の政府による一応の決着まで、水俣病事件は長い年月、水俣市および周辺の人々を苦しめ続けました。その苦しみは、我々がニュースなどで知りえた「チッソ」「行政」と「患者団体」の争い、だけでは語り尽くせないものがあります。命や健康を失った被害者だけでなく、地域社会も差別や偏見、失業、経済的困窮、家族解体、そして市民同士・患者団体間の反目、中傷、など、1 企業の起こした公害・環境破壊が、人間だけでなく、水俣市という地域社会全体を崩壊状態にまで追い込みました。

今、水俣市民は、水俣病の犠牲に加え、「環境モデル都市」として、環境にこだわり、資源循環型の暮らしを築き、環境と共生する社会の実現に向けて様々な取組みを行っています。

今回のセミナーは、「水俣病事件」が全国どこでも起こりうる問題として理解していただく事と同時に、そうした水俣市民の未来に向けた取組みも知っていただきたく実施いたしました。

水俣市をはじめ、セミナーにご協力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

研修日程

日次	スケジュール（講師と主な講演内容）	
<p>第1日 8月19日 (木)</p>	<p>09:30 11:10 13:16 13:49 14:20 14:30~ 15:00~ 15:50~ 17:00~ 18:00~</p>	<p>羽田空港発（ANA621便） 鹿児島空港着 鹿児島中央駅発（九州新幹線つばめ48号） 新水俣駅着 「もやい館」着 セミナー開始 中西理事長挨拶 吉永専務理事趣旨説明 講演：丸山定巳氏（熊本大学文学部教授） 「水俣病事件の概要」 交流：田中睦氏（公害研究サークル代表・水俣第1小学校教諭） 「学校現場と水俣病」 質疑 宿舎 熊本県観光物産総室・熊本県観光連盟・水俣市商工観光課と意見交換会</p>
<p>第2日 8月20日 (金)</p>	<p>08:30 08:50 09:00~ 10:00~ 12:30~ 13:10~ 18:00</p>	<p>宿舎出発 「熊本県水俣環境センター」 報告：吉永利夫氏（NPO法人 水俣教育旅行プランニング事務局長） 「水俣における環境学習と修学旅行について」 講演：吉井正澄氏（前水俣市長） 「もやい直しについて、水俣市の環境への取組」 昼食：エコパーク内道の駅たけんこ フィールドワーク 水俣市役所（滝澤助役）・授産施設「ほっとはうす」訪問・水俣湾埋立地周 辺・水俣病資料館・水俣病情報センター・エコタウン（リサイクル工場）・ 茂道漁港・相思社歴史考証館・久木野地区 福田農場・施設見学後夕食</p>
<p>第3日 8月21日 (土)</p>	<p>08:00 08:30 10:00 10:30 11:30 12:10 15:10 15:50 17:25</p>	<p>宿舎出発 （海上タクシー） 08:30 天草 本郷港着 御所浦町（ごしょうらまち） 案内：御所浦町役場企画観光課 三宅課長補佐 白亜紀資料館・・・会議室にて漁業体験・民泊体験の説明 学芸員による化石発掘・復元の説明 化石発掘体験・・・用具は町で用意 10:00 本郷港発 （海上タクシー） 10:30 天草 本渡港着 天草切支丹館見学 11:30 昼食：天草プリンスホテル 12:10 本渡発 （天草五橋経由） 15:10 熊本空港着 15:50 熊本空港発（ANA646便） 17:25 羽田空港着 到着ロビーにて解散式</p>